

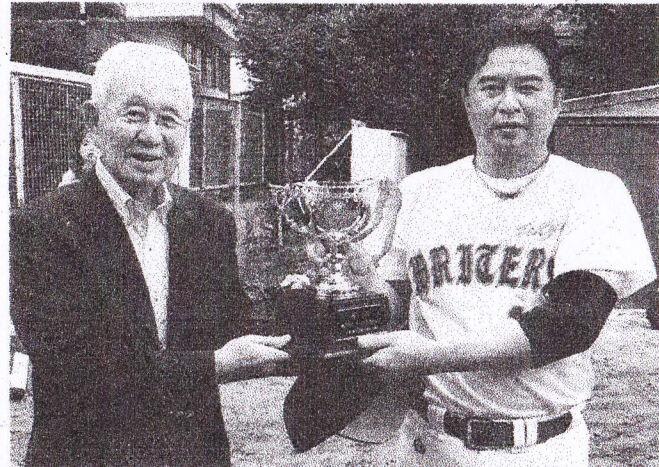
東京芸能人野球リーグ戦

東京中日スポーツ杯争奪協賛S-A-Tシスシャバン

3季ぶり21度目ライタース優勝

中日杯を懸けて行われていた第51回東京芸能人春季野球リーグ戦(東京芸能人野球連盟主催、東京中日スポーツ後援)が14日閉幕し、俳優の森山周一郎さん(76)が総監督を務める東京ライタースがゼッツを8-3で下し、3季ぶり21度目の優勝を決めた。

両チームが優勝をかけて激突した最終戦はライタースが2回に先制。今大会、終盤での逆転勝ちが多く打線好調のゼッツは、5回にライタースのエースで元オリックス



春季大会最終結果

順位	チーム	勝	分	敗
優勝	東京ライタース	5	—	0
準優勝	マンボウ	3	1	1
3位	球団ゼッツ	3	—	2
4位	BBCすぎずき	2	—	3
5位	演劇集団円	1	1	3
6位	俳協タックス	0	—	5

最優秀選手(森繁杯) 河野聖(ラ)

の庄司投手をとらえ、1点差まで迫ったが、ライタースは最終回に島田が右中間に2点本塁打を放つなど4点を追加し突き放した。最優秀選手(森繁杯)にはライタースの河野聖選手が選ばれた。

(14日・神宮外苑軟式野球場)

ライタース 0 1 3 0 0 4
ゼッツ 0 0 1 0 2 0 — 3 8
(6回時間切れコールド)

(ラ) 庄司、串田、伊藤
(ゼ) 草刈、三代
(本塁打) 島田①(ラ)、
俳協タックス

マンボウ
(俳) 佐藤、若林
(マ) 目崎、蓮本、蓮本、目崎

BBCすぎずき
5 2 0 1 0 1 1
0 0 0 1 0 0 0
1 1 0

演劇集団円
(す) 鈴木、加藤
(円) 小松、山崎英、黒瀧
(本塁打) 蘇我部①(す)

森山連盟会長(左)から中日杯を受けとるライタース河野聖監督(右) 神宮外苑軟式野球場で